

準備

Step 0：自分が当事者としてとると思う行動を想像してみよ

※ 分析に先立って、直感的に思いついた行動案を記してみましょう。

Step 2：事実関係を整理せよ

※ 問題に関連する事実関係を整理することで、思い込みや想定外をなるべく避けるように努めましょう。
また、注意すべき法令や倫理綱領なども確認しましょう。

明示されている事実	
根拠の確かな事実	根拠の不確かな事実

明示されていない（確認が必要な）重要な事実	注意すべき法令・倫理綱領

Step 1：当事者の立場から、直面している問題を表現してみよ

※ 自分が主人公だとして、何に困っているのかを表現してみましょう。

Step 3：ステイクホルダーと価値を整理せよ

※ 自分の行動によって影響が及ぶ／自分の行動に影響を及ぼすステイクホルダー（利害関係者）をあげましょう。ステイクホルダーは事例の登場人物だけとは限りません。

※ さらにその人たちが重視している価値を整理しましょう。それがあなたの行動の評価や信頼にもつながります。価値を検討する際には倫理綱領も参考にしてください。

ステイクホルダー	重視していること（価値）

※ Step 1 で表現した自分自身の倫理問題の構造を、価値の観点から分析してみましょう。

ジレンマ （対立）	
線引き （程度）	

Step 4：複数の行動案を具体的に考えてみよ

※ Step 2 と Step 3 の分析に基づいて、自分の行動案をその方法・プロセス（いつ？どこで？どのように？…など）まで具体的に考えてみましょう。

1		3	
2		4	

Step 5：倫理的観点から行動案を評価せよ

※ Step 0 と Step 4 の各行動案に対して、エシックステストをかけてみましょう。○×△だけで評価するのではなく、（とくに微妙な判断については）評価の内容を文章でも記録しましょう。

行動案	_____テスト	_____テスト	_____テスト	_____テスト	_____テスト
Step 0					
Step 4	1				
	2				
	3				
	4				

特記事項

Step 6：自分の行動方針とその具体的方法を決定せよ

※ Step 5 の評価に基づいて、自分の行動方針とその方法を具体的に一つに定めましょう。上記の行動案の組み合わせになっても構いませんが、組み合わせることにより良い行動になるように工夫してください。さらに、その行動を取った理由を専門家としてきちんと説明してください。（説明責任）

Step 7：再発防止に向けた対策を検討せよ

※ このような問題が繰り返し起こらないようにするための対策を、具体的に考えてみましょう。